

国 レ ベ ル の 指 標 構 築 に む け て

シンポジウム

ネ イ チ ャ ー ポ ジ テ イ ブ を 測 る

日
時

2025年
1月22日（水）15時～17時30分

場
所

東京大学農学部
弥生講堂セイホクギャラリー*

*会場定員60名、対面のみでオンライン配信はありません

基調講演

*同時通訳付

UKCEH
Nick Isaac

The biodiversity data pipeline:
from observations to understanding,
indicators, targets and pathways

パネルディスカッション

司会者

国立環境研究所 角谷 拓

東京大学
吉田 丈人

生物多様性及び生態系サービスの総合評価
（JBO）の取組みと進捗状況

環境省
生物多様性センター
高橋 啓介

自然環境保全基礎調査総合解析について

国立環境研究所
深谷 肇一

ボランティア調査員による全国モニタリングに
基づく個体群トレンド指標の構築

国立環境研究所
石濱 史子

多様なデータを活用した遺伝的多様性のモニタ
リング指標算出

森林総研研究所
山浦 悠一

日本の繁殖鳥類の分布面積と個体数の40年間の
変遷から示唆された、温暖地帯での潜在的な危機

土木研究所
森 照貴

河川における魚類群集の25年間にわたる変化と
評価基準

主
催

国立環境研究所、環境研究総合推進費
「生物多様性の時間変化をとらえるデータ統合と指標開発」(4-2302)

共
催

環境研究総合推進費
「生物多様性と社会経済的要因の統合評価モデルの構築と社会適用に関する研究」(S-21)
日本生物多様性観測ネットワーク（JBON）